

報告事項セ

平成27年度特別支援学校就労促進セミナーの実施報告について

平成27年度特別支援学校就労促進セミナーの実施報告について、別紙のとおり報告します。

平成27年11月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成27年度特別支援学校就労促進セミナーの実施報告について

特別支援教育課

1 目的

- (1) 特別支援学校の生徒の状況を事業所に周知し、障がいへの理解・啓発を促進する。
- (2) 本人、障がい者雇用・就労に関わる事業所、卒業生、支援者など、それぞれの立場から障がい者の就労促進について、現状や思いを発表し合い、参加者全員が障がい者の就労についての理解を深め、就労促進について考える機会とする。

2 実施概要

(1) セミナーの概要

東部地区	中部地区	西部地区
7月9日(木)	6月4日(木)	9月14日(月)
主幹：白兔養護学校	主幹：琴の浦高等特別支援学校	主幹：米子養護学校
<ul style="list-style-type: none"> ・意見発表 ・授業公開 ・講演 イオン鳥取北店 株式会社串惣 鳥取県保健事業団 ・パネルディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムディスカッション JA鳥取いなば 株式会社ソルヘム ・キャリアメッセージ発表 ・授業公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開 ・意見発表 ・事例発表 株式会社オーク 学校法人米子自動車学校

(2) 参加者数

	東部地区	中部地区	西部地区
事業所	35名 (28社)	54名 (36社)	44名 (32社)
関係機関	25名	44名	21名
保護者	27名	47名	56名
その他	152名	8名	63名
合計	239名	153名	184名

関係機関…労働局、ハローワーク、福祉関係部署 等

その他…一般入場者、生徒、小中学校及び高等学校教職員 等

3 成果等

各圏域とも生徒の生き生きと作業する様子や発表を公開しており、生徒の能力や就労への思いを知ってもらうよい機会となった。また、実際に生徒の姿を見てもらうことで、企業関係者への理解・啓発にもつながっている。

<参加者感想より>

- ・就労に向けての作業訓練、マナー、礼儀の授業、納涼祭に向けての協同的な取り組みがあり、また、テーマを設けてのプレゼンもあり大変よかった。
(東部地区)
- ・就労希望企業を選定する上でより多くの実習やボランティアの機会を持っていたいただければ企業の側も大いに勉強になる。(東部地区)
- ・日頃なかなか見ることのできない授業を見ることができてよかった。(一つの学校で他の学校の授業が見られたこと) (東部地区)
- ・生徒それぞれが自分を理解し、企業とマッチングできることを望んでいる。あいさつ先手必勝、大変よく守られ実行されていて気持ちよかった。
(中部地区)
- ・今回初めて参加したが、生徒の皆さんがとても明るく元気なのが好印象でした。まだ、こちらも勉強不足で分からないことが多いが、障害者雇用のための企業向けセミナーなどに参加していきたいと思った。(中部地区)
- ・マイキャリアメッセージが良かったです。ハキハキと大きな声で発表が素晴らしかったです。自分の意見を伝えることは就職後も役立つことなので、大変よいと感じました。(中部地区)
- ・他の企業の発表から、障がい者を雇用する上でどのようなところから取り組めばよいか、とても参考になりました。(西部地区)
- ・業務をパターン化する、明確にすることで混乱が減る、就業以前の問題があることがわかった。これらのことは健常者のスタッフにも言えることで、障害者雇用を考えることをきっかけに、業務改善につながると思う。
(西部地区)
- ・弊社も法定雇用人数が2名足りません。業務についての見直しも検討したいと思います。(西部地区)